

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・建設リサイクル法に準拠し、すべての工事において発生する産業廃棄物の適切な管理と処理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4			14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内の電気は全てLEDへ変更し、不在時や休憩時は事務所照明の電源を切り、空調は設定温度を決めて使用する等、自社で節電対策を行っている。 ・月次で事務所や現場ごとの電力・燃料使用量を確認し、現場間での差異を分析している。 ・今後CO2排出量を算定し可視化できるシステムを導入予定。 ・現場車両や重機では、アイドリングストップの徹底や作業計画の効率化を行い、燃料消費の抑制に取り組んでいる。															13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車利用時はアイドリングストップやナビを利用した最短距離での移動を推奨し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。 ・CO2排出量の簡易計算シートを活用し、自社の排出量を把握・管理することで、削減に向けた取り組みを進めている。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めるよう従業員へ周知している。						6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・建設現場における資源利用の削減や再利用を推進している。 ・ペーパーレス化および使用済みコピー用紙の再利用を促進している。									9.4				12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所にウォーターサーバーを導入し、これにより水道水の使用量が減少するとともに、従業員の節水意識が高まっている。 ・コンクリート残水や洗浄水を直接排水せず、沈殿処理を行ったうえで適切に処理している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5					14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用消耗品はグリーン購入法適合商品の購入を推進している。									9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3			14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・会社敷地内に花や木を植栽し、事務所内には観葉植物を置くことで緑の創出と保全に取り組んでいる。													11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・法面保護協会主催の森林下草刈り植樹ボランティアに参加し、森林利用への取組みを推進している。							6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・従業員へマイボトル利用を推奨し、プラスチックの使用削減に取り組んでいる。														12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・営業車に一部ハイブリット車を導入している。										9.4			11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2		

